



地域日本語支援ニュース こだま 第 237 号

2013.7.11



★—メールマガジンをお読みいただき、ありがとうございます—★

【地域日本語支援ニュース こだま】は、日本語教育に関する事業を全国で行っている公益社団法人国際日本語普及協会(AJALT)発行のメールマガジンです。各地域で在住外国人に対する日本語・生活支援に携わっている方々に役立つ情報の共有を目指していきます。

====目次=====

1■ともに 生きる■

～タイの本場の味を伝える場所 人々の力になれる場所～

佐野さりさ

2■進学進路ガイダンス情報■

高校進学説明会情報(7月・8月・9月)

=====

1■ともに 生きる■

～タイの本場の味を伝える場所 人々の力になれる場所～

佐野 さりさ

-----  
今回は富岡市国際交流協会の「日本語を学ぶ会」からお届けします。  
富岡市は富岡製糸場でよく知られる町で、群馬県の西にあります。  
協会は約 20 年前に発足し「日本語を学ぶ会」は 14 年前から活動しています。来日後 19 年、タイ料理のレストランを開いてお国の自慢料理を広めているタイ出身の佐野さりささんにタイ料理やお店に対する思いを、そして会から須藤さんと餅原さんにその活動の一端を書いていただきました。  
☆☆☆☆☆☆☆☆  
-----

◆ことばだけでなく 気持も！！

来日して 19 年、こどもにも恵まれ、家族と一緒に幸せに過ごしてきました。

もちろん悲しいことや辛いこともありました。誰でも一度は、とっても悲しく辛いことがあります、何もしたくないと思うときがあるでしょう。私もそう感じたことがありました。日本語を学ぶために、富岡市国際交流協会に通い始めて、たくさんの方々と出会いました。そこには、日本語を教えたり交流したりする方達がたくさんいましたが、日本語を教えることだけではなくて、日本の文化についてや習慣を教えてくださいました。時間をつくって相談相手になってくれたりして、私は会の皆様から、気持の面でたくさんのことを得ることができました。私にとって、この会の場所は最高の場所でした。外国から来た人だけではなくて、日本の方にとってもよい場所となると思いますので、ぜひたくさんの方が足を運んでみてはどうですか。

#### ◆なにかをやりとげたかった……

私は昨年、高崎に「ライタイ」というタイ料理の店を開きました。お店を始めたきっかけは、私の中でひとつ大きなことをやりとげたかったからです。料理にはあまり自信がありませんが、タイ料理については、タイ本来の味を出すことに、自信がありました。私の人生を最高にするには、料理をすることだけだと思ったからです。そして、今まで支えてくれた方々の分まで全力で頑張りたいです。全力を出せばよい結果が見れると信じたいです。そして「ライタイ」のお店をタイ料理だけではなくて、富岡市国際交流協会のように人々の力になれるような場所にしたいと思っています。どんなことでも力になります。

#### ◆料理と心を伝える

私の国のタイでは、友達や親せきが遊びにくると、お客様も家の人と一緒に料理を作ります。皆で一緒に料理をつくって、楽しく食事をします。私も国では毎晩のようにそうやって過ごしました。そんなタイ料理の思い出を日本の皆様にも伝えたいと思っています。

富岡市国際交流協会の皆様、「ライタイ」にお越しくださったお客様、今までふれあった皆様、今まで、ありがとうございました。よい結果をだせるようにがんばっていきたいと思っています。

\*\*\*\*\*

「日本語を学ぶ会」

須藤 千賀子（代表）

◆いろいろな応援をし続けていきたい

富岡市国際交流協会「日本語を学ぶ会」は毎週木曜日、午前と夜に教室活動をしています。ここでは、言葉を学ぶだけではなく、日本人も外国人も、お互いが、コミュニケーションを深め、安心できる場所を作っていきたいと思って進めてきました。

午前クラスには、主婦の方が多く、夜クラスには、仕事を終えた方たちが集まっています。夜は特にアジアからの研修生、小中学校で英語を教える外国語指導助手（ALT）の方たちが参加しています。この方たちは2、3年の滞在のため、数年ごとに入れ替わっていきますが、そのあいだに熱心にことばを学び交流を深めています。

さりさんは、レストランを開きたいので、日本語をもっと勉強したいという大きな夢を持ち、その目標に向かっていました。お店を開くのは、大きな夢であり、それは夢のままであり続けることが多いと思いますが、ご自身の力とご家族の協力で、ついに実現してしまいました。その熱意、行動力は周りを勇気づけてくれます。日本語の学習も本当に熱心に続けていました。私たち会のメンバーもいつも応援してきました。

タイの人たちは「笑い」を大切にするそうです。今、さりさんは、そのとおりに、美味しいタイ料理を作り続け、笑顔を絶やさず明るいお話とともに迎えてくれます。外国からやってきて日本語を学ぶ人たちにとって、会の存在が何かの力になっているなら、この活動は続けていくことに意味があると私たちは改めて感じています。

富岡市国際交流協会 HP

<http://www.tomioka-ia.com/about/index.html>

---